

2026年1月25日(4週目)主日礼拝

「靈的大戦争、ハルマゲドン戦争」(黙示 19:17-21)

ハルマゲドンの戦争は、靈的な戦いである。キリストが再臨をすることである。統一教会は間違った再臨について教えていることが問題である。1960年頃は、10%近くの方がキリストを信じて教会が強くなった。それによって、日本は大きく発展するようになった。しかし、今は教会が弱くなっている。自由主義神学、カール・バルトの新正統主義になり(悪魔を認めず、ただキリストの信仰でない為)、教会が弱くなってしまった。聖書の一番重要な内容は、イエスがキリストであること。福音を除いて律法だけに傾いても、教会が弱くなってしまう。福音宣教教会、日本神学校は恵みの中でますます発展している。私たちは、聖書の正しい契約を掴むことが出来るように。

1.聖徒の地上の使命は靈的戦争	2.ハルマゲドン戦争	3.靈的戦い生活(準備)
<p>▲聖徒の地上の使命は靈的な戦いである。このことは聖書で一番大事な内容である。</p> <p>1)創 3:15(わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとにかみつく) • キリストはサタンの頭を踏み砕く。 • キリストを信じる神様の子どもは勝利する。</p> <p>2)黙 6:11(彼らのひとりひとりに白い衣が与えられた。そして彼らは、「あなたがたと同じしもべ、また兄弟たちで、あなたがたと同じように殺されるはずの人々の数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいいなさい。」と言い渡された。) • 信仰生活は、殉教まですることは恵みである。 • 殉教者の数が十分にならないと再臨はしない。 • 全焼の生贊は、全て主に捧げることである。 • 主に捧げる人に、主は全てのものを与える。 • 十分の一献金を捧げることは恵みである。</p> <p>3)黙 11:4-5(彼らは全地の主の御前にある二本のオリーブの木、また二つの燭台である。彼らに害を加えようとする者があれば、火が彼らの口から出て、敵を滅ぼし尽くす。彼らに害を加えようとする者があれば、必ずこのように殺される。) • アブラハムの信仰によりサタンの物を勝ち取る • 私達もサタンのものを勝ち取るように。 • 教会は神様の証人として用いられるように。 • 迫害を受けても殉教をするくらいが教会の使命 • 二人が戦うと勝利をする—チームで伝道する。</p> <p>4)黙 12:11(兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。)</p> <p>○黙 17:14(この者どもは小羊と戦いますが、小羊は彼らに打ち勝ちます。なぜならば、小羊は主の主、王の王だからです。また彼とともにいる者たちは、召された者、選ばれた者、忠実な者だからです。) • 教会はサタンに勝利をする。</p> <p>○黙 19:14—イエス様は再臨をして悪魔を打ち砕く</p>	<p>▲キリストが軍隊となって再臨をする。サタンを打ち砕くことが目的である。</p> <p>1)黙 16:13-14(彼らは全世界の王達のところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めためである。) • 最終の戦争はハルマゲドンの戦争。 • この時点は戦争を準備する段階 —サタンが戦争の為の準備をする。 • 「大いなる日」は再臨の日である。</p> <p>2)黙 16:16(彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。) • イエス様が再臨をする時が戦いの時 —ハルマゲドン戦争が起こされる。</p> <p>3)黙 16:12(第六の御使いが鉢を大ユーフラテス川にぶちまけた。すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった。) • 鉢をぶちまけ川が変わり王が集まった</p> <p>4)黙 19:17(「さあ、神の大宴会に集まり!」) • 神の大宴会の日に集まってきた。</p> <p>5)黙 19:19-20(私は、獸と地上の王たちとその軍勢が集まり、馬に乗った方とその軍勢と戦いを交えるのを見た。すると、獸は捕えられた。また、獸の前でしるしを行ない、それによって獸の刻印を受けた人々と獸の像を挙げる人々とを惑わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕えられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きたままで投げ込まれた。) • 偶像を挙げる人も一緒に捕えられた。 • 再臨はサタンと戦うためである。 • ハルマゲドンの戦いはサタンと獸、偽預言者を地獄にいれる為。</p>	<p>▲私達の戦いは靈的な戦いである。私達は靈的な戦いの準備をするように。</p> <p>1)マタイ 25:13(だから、目をさましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないからです。) • 戰争のためには起き上がるよう。 • 眠っているのは快楽中心、自分中心になるようにサタンは騙す。 • 精神的に目を覚ましてサタンと戦うように。</p> <p>2)黙 16:15(見よ。わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物をつけ、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである。) • 神様は盗人のように来る。 • 私達は靈的な戦いをするように。 • 私達の一度だけの人生は、悪魔を憎しみ、悪魔と戦うように。</p> <p>3)ヨハネ 20:22(彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。」) • 礼拝と祈りによって生き返ることが出来る。 • いつも聖霊に満たされるように。 • いつも私達は、神のやぐらになるように。 • サタンのやぐらが縛られるように。 • 主の恵みによって靈的に起きあがり強くなるように。</p> <p>4)ローマ 13:11-12(あなたがたは、今がどのような時か知っているのですから、このように行ないなさい。あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもう来ています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。) • 主の再臨の時は近づいている。 • 深い呼吸をして、今日の3つをするように。 • 重職者は、現場で生きることが出来るように。 • 礼拝に成功する時に、レムナントはサミットになる。 • 日野原先生は、伝道者として用いられた。 →サミットになって伝道することが出来るように。 • 精神的な戦いに勝利を出来るように。</p> <p>▲結論</p> <p>○1000やぐら—1000のやぐらを立てることが出来るように。</p> <p>○300%答え—靈的なサミット、技能サミット、文化サミットになるように</p> <p>○創 22:14(そうしてアブラハムは、その場所を、アドナイ・イルエと名づけた。今日でも、「主の山の上には備えがある。」と言い伝えられている。)</p>

現場地教会(2026年1月25日～2026年1月31日)

【讃美】「イエスわが王よ」

1)イエスわが王を讃美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にさげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2)イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 讳美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス來られ 许美を受けたまえ

【使徒信条】

私は天地の造り主、全能の父なる神を信す。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信す。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこり来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信す、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信す。アーメン

【メッセージ】 「靈的大戦争、ハルマゲドン戦争」(黙示 19:17-21)

【讃美】 401 御国へと目指す聖徒

【祈り】

- ①教会の祈りの課題
- ②御国イザヤ牧師に聖霊充满と5つの力が与えられるように。
- ③現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
- ④現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。國とちからと榮えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

天の父なる神様、今日、御言葉を通して「ハルマゲドン戦争」の本質が、目に見える肉的な戦いではなく、再臨される主イエス・キリストがサタンと闇の勢力を完全に打ち碎く靈的な大決戦であることを信じます。

王の王、主の主であるイエス様が、すでに暗闇の勢力に打ち勝ち、私たちをサタンの束縛から解放してくださったことを信じます。

主よ、私たちが自分中心、肉中心、成功中心の思いに捕らわれ、靈的な眠りに落ちていたことを悔い改めます。

ただ慰めを求める弱い信仰ではなく、主と共に戦う「光の武具」を身に着けた靈的な軍隊として、私たちを強めてください。

今、聖霊の充满を注いでください。深い呼吸とともに、神様の力が私の魂、心、体に満たされることを祈ります。

私の中にある古い体質、闇のやぐら、そして一切の病魔や呪いの勢力は、イエス・キリストの権威ある名前によって完全に退けられることを宣言します。

私たちが置かれた場所で「福音のやぐら」となり、日本と世界の福音化のために用いられる「靈的サミット」として立たせてください。

どのような問題や困難の前でも恐れず、すでに勝利された主イエス・キリストを完全につかんで歩む一週間となりますように。

「アドナイ・イルエ（主の山に備えあり）」を信じ、思い煩うことなく、すべての必要を満たしてくださる主の約束にのみ信頼を置かせてください。

主任牧師に聖霊充满と五つの力を注ぎ、100箇所の地教会運動、楠RUTCの建築、そしてレムナントをサミットへと育てる訓練施設と教会堂建築を成し遂げさせてください。

ひかり日本語学校が文科省の認定を無事受けますように。

握った契約を片時も離さず、出会うすべての人々や出来事の中で、福音の証人として歩ませてください。

私たちの勝利の旗印である、主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。

(お知らせ)

- ・来週は聖餐式となります。
- ・ひかり日本語学校が文科省の認定を受けるようにお祈りをお願いします。
- ・山原玲子勧士、国邑京子牧師の健康の回復の為にお祈りをお願いします。

福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ

名古屋市中区栄5丁目23-8／tel:052-238-6003

主日(日曜)1部礼拝 7:00 ／ 2部礼拝 10:00 ／ 3部礼拝 12:00